

令和7年度

研究デザイン



亀山市立亀山東小学校

〒519-0116 亀山市本町一丁目9番9号

TEL 0595-82-0011 FAX 0595-82-9693

教育大綱 基本方針—1—

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら、なかまとともに主体的に学ぶために

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

1. 学校教育目標

地域の中で生き生きと学び 豊かな心をもって よりよく生きる子どもの育成

子どもたちがいきいきと楽しく学ぶ学校

一人ひとりの子どもに居場所がある学校

保護者・地域と教職員が手を取り合って進む学校

2. 研究主題及び研究領域

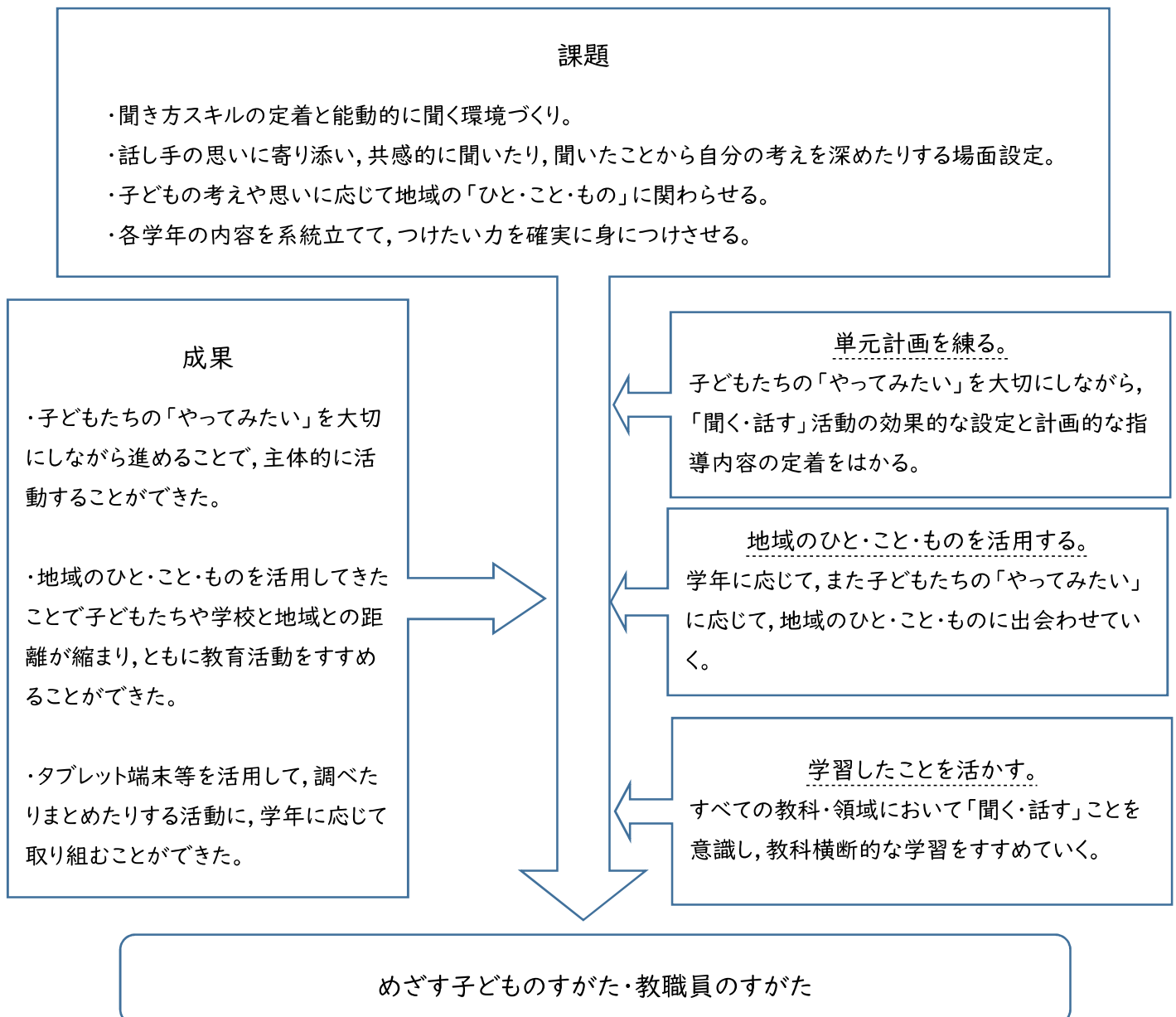
子どもたちの「やってみたい」を大切にした授業づくり

～聞く・話す活動を通してつける探究力～

領域：国語科・生活単元学習

3. 研究主題設定の理由

昨年度は、子どもたちの「やってみたい」を大切にした「聞く・話す」活動を中心に据えた授業づくりの研究をすすめてきた。活動内容によって差はあるものの、主体的に活動する姿が見られるようになってきた。今年度は、活動を設定するだけにとどまらず、「聞く・話す」活動を通して単元や一つの授業でめざす資質能力の定着や、思考力探究力の育成に重点を置いた研究をすすめることとした。

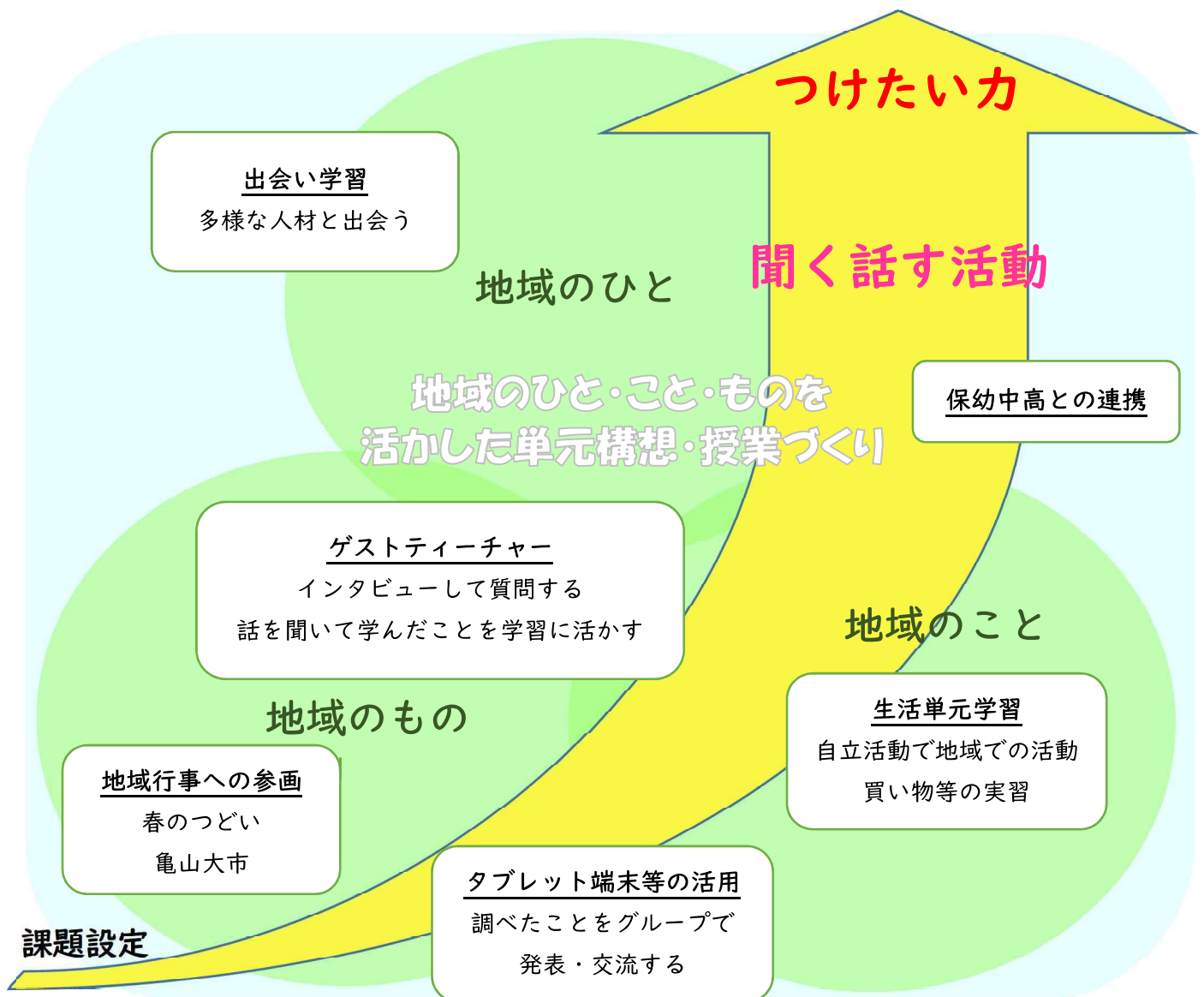


4. 研究構想図

めざす子ども像

【地域の中で生き生きと学び、豊かな心をもってよりよく生きる子ども】

- ・自ら課題を立て、仲間とともに思いを出し合いながら、粘り強く学習に取り組む子
- ・自分も仲間も大切にでき、ちがいを受け入れ、いじめを見逃さず、自信をもって生きる子
- ・感謝の心で人と接し、世代を超えて協力でき、地域の未来に貢献できる子



子どもたちにつけない力

- ・自分の考えを持ち、表現
- ・友だちの思いや考えをしっかりと聞き、自分の考えを見つめ直す力。
- ・自分の考えを持ち、適切な言葉や方法で表現する力。
- ・課題に対して、最後まであきらめずに根気強く取り組む力。

学びを支える基礎学力づくり～学習部と連携～

学びを支える学級づくり～人権教育推進委員会と連携～

5. 研究内容

授業づくり

① 学年ごとにめざす子どもの姿を設定する

- ・発達段階に応じた子どもたちの聞く・話す姿を明確にし、国語科・生活単元学習を中心にスキルの定着やめざす姿の実現のための手立てを工夫する。

② 相互授業参観

- ・日常的に互いの授業を見合える環境を作り、授業力向上の機会とする。
- ・学期に1回程度の相互授業参観ウィークを設定する。

③ 学びを高める

- ・「よむ×よむ」「マス×マス」を活用した授業実践を行い、「読む・読み取る力」「算数・数学的思考力」の育成を図る。
- ・T.Tを活用し、子どもたちの確かな学力の育成につなげる。
- ・学調、みえスタの分析から見える課題に取り組む。

基礎学力の定着

① 家庭学習

- ・「いえ学のススめ」を配付し、家庭での学習環境づくり・学習習慣の定着を図るとともに、「いえ学強化週間」を学期に1回設定し自主学習に積極的に取り組む。
- ・タブレット端末の持ち帰りをを行い、e-ライブラリ等を活用した繰り返し学習を行う。

② 補充学習

- ・朝の学習、スキルアップタイムを活用し補充学習や復習を行う。

③ 読書習慣の確立

- ・学校図書館活用アドバイザーや図書館司書と連携し、読書の推進と図書館活用推進を図る。

地域素材を生かした単元構想・授業づくり

地域のひと・こと・ものを学習過程で活用できる単元づくりを行う。単元を通して、つけたい力や目指す子どもの姿、学習のゴールを明確にして単元構想を作成する。また、各学年の発達段階に応じたテーマの設定、学校や地域の特色を生かしたテーマを設定する。

各教科等の学びを活かす

総合的な学習の時間を要とし、子どもや教員が各教科等で学びを活かすことができるように教科横断的な学習を行う。学習を進める中で、子どもと共に各教科との関連を確認していくことで、子どもも教員も各教科の学びと総合的な学習の時間との関連を認識し、活かすことができるようにする。